令和３年度第２回北海道立帯広美術館協議会　欠席者意見等

項　目	意見等	事務局回答
【令和３年度事業の状況について】	「水木しげる魂の漫画展」は作品の人気もあるが、展示開催に当たってのＰＲの効果も大きかったのではないかと感じる。今後も展示に関するＰＲ手法に期待する。	マスコミ関係者等の協力を得ながら効果的な広報宣伝活動を行って参ります。
	コロナ禍の中でご苦労も多かったことと思います。 開館 30 周年という大きな節目に、積極的に記念事業を行う事も難しいと思われる状況の中、粛々と色々な展覧会や行事に臨まれたこと、また臨まれていること、本当にご苦労さまです。	地域に親しまれる美術館を目指して、積極的に事業を実施して参ります。
【美術館評価（暫定版）について】	前回の会議でも申し上げたが、外部評価を取り入れることが望ましいが、帯広美術館では難しい面もあると思うので、来場者のアンケート結果などを反映出来ると客観的な評価につながるものと考える。	・現在、評価改正に係るプロジェクトチームを立ち上げ、検討しているところです。 ・ＰＤＣＡサイクルを回し、美術館活動の向上を図るため、長期、中期目標を設定し、これらの目標達成のため具体的方策を毎年度設定することを検討しており、令和５年度からの運用を目指しています。 ・外部評価を取り入れず、自己評価となる予定です。 ・達成度を測るため、来場者のアンケート結果も活用します。
	Ｅの地域文化の振興に関しては連携関係機関のコロナ禍での対応もそれぞれ違い、実施不可になることも多かったのではと思われ、それ以外が目標をほとんど達成しているＢ評価であったことは素晴らしい事と思います。	
【令和４年度事業の運営計画について】	今年度の展覧会も楽しみにしております。 いつでも心の癒しができる美術館であってほしいと願っています。	
【美術館に期待すること】	感染症の影響などにより、先行不透明な時代であるが、美術館が地域の芸術文化の拠点として日々の暮らしに豊かさや潤いをもたらしてくれることを期待する。	地域に親しまれる美術館を目指して、積極的に事業を実施して参ります。
	コロナが収束となりましたら、またチームラボの様な各年代が思いっきり楽しめる展覧会があると良いと思います。 今は、札幌で開催されるバンクシーの展覧会を楽しみにしているという声も多く聞かれます。私も鑑賞する予定でいます。できれば、帯広美術館でも開催されれば良いなとも思っております。	
【その他（事由記載）】	若い方に、いろいろな機会で新聞掲載している事を話すと、新聞は購読していない、情報はネットからと言う話が良く聞かれます。そこで、若い方の多くが利用しているLINE でも美術館の情報を発信しては良いのではないでしょうか。 私が関係している法務省人権擁護課でも LINE で情報発信しています。人権に関わる情報を細かに楽しく発信されています。	・展覧会の情報については、道教委のメールマガジンやフェイスブックなどで配信しているところです。 ・LINE の活用については、本庁他課の活用状況を参考にしながら検討して参ります。